

よいことの
ために
手を取りあおう



Weekly Bulletin

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツオ

静岡ロータリークラブ

●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／児玉 俊明 ●副会長／坂上 康 ●幹事／川崎 裕司 ●副幹事／山本 芳司・瀧上恵美子

2025-2026

11月10日



第3755回例会

ゲスト卓話「サイバー空間の脅威と対策について」



●ロータリーソング●



副ソングリーダー
鈴木 礁君

●ビジター紹介●

親睦委員会 神谷 真太郎副委員長
浜松ロータリークラブ 海野 育男様

●会長挨拶●

会長 児玉 俊明 君

2週間ぶりの例会ですが、皆様お変わりありませんか。

さて、その間に、国際ロータリー第2620地区第3グループのイベントがありました。1

●ゲスト紹介●

静岡県警察サイバー対策本部サイバー企画課
管理室 警視 三浦 文徳様



つは11月1日の合同奉仕のイベントで草薙神社の清掃を第3グループ11ロータリーで共同して行うものでした。静岡ロータリーからは20名近くのロータリーメンバーと4名のローターアクトのメンバーが参加し、全体では100名を越すロータリーメンバーと草薙神社の氏子の方々の協力で短時間で清掃は終わりました。ごみのパッカー車があったことが作業効率をあげていたようでした。杉本委員長ありがとうございました。

その後、末廣鮓での第2回目のファイアーサイドミーティングです。合同奉仕で汗をかき、喉も乾いていたところだったので1杯目のビールの味は最高でした。やはり良いことをしてきたという気持ちで皆様の意識が高まっている感じでした。そして、おいしいお料理とおいしいお酒で、幸せな時を過ごすことができました。配車の関係で飲めなかったメンバーの原田さん、牛島さん、坂上会長エレクトありがとうございました。

次は、11月8日に行われた第3グループ合同のエンドポリオ街頭キャンペーンです。

静岡ロータリークラブからは10名のメンバーと山田先生率いるサレジオ学園インターラクトメンバーとで、清水駅東口で行われていた清水マグロ祭りの会場での募金キャンペーンに参加しました。ここではサレジオ学園のインターラクトの女子高生が大活躍でした。山田委員長ありがとうございました。それから駐車場をお借りしたローソンの石塚さんありがとうございました。

つは11月1日の合同奉仕のイベントで草薙神社の清掃を第3グループ11ロータリーで共同して行うものでした。静岡ロータリーからは20名近くのロータ

●委員会報告●

雑誌委員会 後長 伸太郎委員長

「ロータリーの友」の11月号見どころ。
横綴じP5～P11



大阪北部の第2660地区の7つのインター
アクトクラブの

代表の方々が、大阪開催万博の中で発表した内容について掲載。

P20～P20

ビル・ゲイツさんのインタビュー記事。

縦組P2～P6特集記事

早稲田大学のラグビー部元監督の中竹竜二
さんの記事。

P11

日本フード53次つまみ食いという連載記事。

親睦委員会 神谷 真太郎副委員長

クリスマス例会について、案内させていただきます、12月15日18時スタートとなっております。参加締め切りが1週間前の12月8日となっておりましてギリギリまで対応可能ですので、皆様のご参加をお待ちしております。今年はbingo大会がございます。景品が皆様からのご協賛によって成り立つカタチとなっております。押し入れに眠る贈答品や、買って満足してしまった健康器具など大放出のチャンスですので、ぜひご協賛宜しくお願ひ致します。景品の締め切りも12月8日となっております。宜しくお願ひ致します。

●おめでとう●

【誕生日お祝い】

●●月●●日 杉山 武靖さん

●●月●日 山口 貴史さん

【結婚記念日】

●●月●日 香本 創児さん、麻里さん

●●月●日 志田 裕美子さん、酒井 尉之さん

●スマイル●

手島 叔宏さん

一週間早いですが、おかげさまで元気に●●才を迎えることができました。これからも感謝の気持ちを忘れず、日々を大切にすごしていきたいと思います。

齊藤 秀彰さん

●●月●●日の結婚記念日に、素敵なお花を頂き、ありがとうございました。何より妻が大変喜んでおりました。自分では全く気が付いておらず、大変助かりました。

香本 創児さん

●●月●日、結婚記念日のお花、ありがとうございました。結婚●●年目にして初めて当日すっかり忘れておりました…。お花に救っていただきました…。助かりました!!

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人數 [※])	出席会員数	欠席会員数	暫定出席率
11/10	109名	67名	42名	61.47%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

●ゲスト卓話●

静岡県警察サイバー対策本部サイバー企画課

管理室 警視 三浦 文徳様

日頃の警察業務へのご協力ご理解に感謝申し上げます。本日はサイバー空間の脅威と対策について、現在の問題事案に触れながらご紹介します。

情報処理推進機構 (IPA) が選定した情報セキュリティ重大脅威 (組織向け) の1位はランサムウェア攻撃による被害で、2024年6月の角川への攻撃では25万4千人分の個人情報等が漏洩しました。2位はサプライチェーンの委託先を狙った攻撃です。2022年10月の大阪急性期・総合医療センターの事例では、給食会社経由で病院サーバーがランサムウェアに感染し、電子カルテデータが使用不能となり、復旧に2ヶ月強を要しました。また、リモートワーク環境を狙った攻撃や、内部不正、不注意による情報漏洩など、技術的な脆弱性だけでなく、人が要因となる脅威も重大です。

個人向けの脅威では、クレジットカード情報やスマホ決済の不正利用、ネット上の誹謗中傷、不正アプリによる被害が10年連続で選出されています。その他、フィッシング、メール・SNSを使った脅迫・詐欺等が挙げられます。

警察庁が検知した不審なアクセス件数は、令和7年上半期で1日1Pアドレスあたり9千件超と高い水準で推移しており、大部分は海外からのアクセスです。不正アクセス増加はサイバー攻撃増加のサインであり、対策が弱いところが狙われます。フィッシング報告件数とインターネットバンキングの不正送金被害額は増加傾向にあり、フィッシングによる認証情報窃取が不正送金の増加に直結しています。

令和7年上半期のランサムウェアによる被害報告件数は116件で、上半期の件数としては令和4年と並び最多となりました。データを暗号化せずに盗み取って公開を脅迫する漏洩ランサムや、暗号化と公表の両方で身代金を要求する複合型も発生しています。静岡県内でもランサムウェア被害や官公庁へのサイバー攻撃が確認され、ネット詐欺被害も急増しています。

このような状況に対応するため、国では能動的サイバー防御法の制定、内閣セキュリティセンターの改組、警察庁によるセキュリティ対策評価制度の導入（2026年予定）などを進めています。本県でも、県警にサイバー対策本部を設置し、さらに8月26日には、知事部局、教育委員会と連携し、オール静岡で対策を進める体制として、静岡県サイバーセキュリティ戦略本部を設置しました。これまでの施策や情報を組織横断的に共有し、効率的かつ効果的な対策を推進していきます。

令和7年上期の被害企業のうち、中小企業が65%超を占めており、あらゆる規模の企業が狙われています。感染経路の約8割がVPN機器やリモートデスクトップといった通信機器・遠隔操作ソフトの脆弱性を突かれたものであり、原因としてID・パスワードの安易さやアカウント管理の不備が挙げられます。犯行グループは、週末を狙った攻撃実行、再侵入のための遠隔操作ソフト設置、痕跡・バックアップの消去など、巧妙化しています。

被害企業の調査では、バックアップを取っていても70%以上が復元できません。これは、バックアップデータまで暗号化されてしまったケースが多いためです。対策として、テープやオフラインディスクへのオフライン保存、バックアップサーバーに対する権限設定の工夫が必要です。復旧には多大な時間と費用がかかり、営業損失や損害賠償といった二次被害も発生します。被害に遭わないことが最も重要であり、平時から対応体制を定め、訓練しておくことも大切です。

攻撃が増加している要因の一つに、ランサムウェアをサービスとして提供する「RaaS (Ransomware as a Service)」というビジネスモデル化があります。これにより、高度な知識がない実行者でも容易に攻撃が可能になり、身代金が支払われた場合は報酬が得られる仕組みになっています。

感染が疑われる場合は、LANケーブルを抜くなどしてネットワークから隔離することが第一です。ただし、検査に必要なデータを失わないよう電源を切らないことも重要です。身代金は、復元が保証されないため、支払わないことを推奨しています。

IPAの中小企業実態調査では、取引先に影響があつ

た企業が7割であるにもかかわらず、組織的なセキュリティ体制が整備されていない企業も7割に上ります。情報セキュリティ対策に投資していない企業は約6割で、コスト問題に加え、脅威に対する認識の薄さが背景にあります。しかし、セキュリティ対策への投資が取引につながった回答が4割あることから、対策コストは企業価値を守るための投資となります。

「うちには関係ない」と思わず、セキュリティ対策を始めることが重要です。まずは以下の5項目から継続的に対策をしてください。

1. OSやソフトウェアは常に最新の状態にしておく
2. ウィルス対策ソフトを導入する
3. パスワードを強化する
4. 共有設定を適切に行う
5. 脅威や攻撃の手口を知る

この対策を怠ることは、現実空間で会社の入り口を開放しているのと同じです。

警察の取り組みとしては、各国と協力し、ランサムウェアの複合ツールの開発・提供、国際捜査協力による犯人グループの検挙、県内中小企業に対する情報提供、啓発活動、事案発生時の指導助言を行う静岡県中小企業サイバーセキュリティ支援ネットワークの運営、学校や企業等からの依頼に応じて講習を実施するサイバーセキュリティカレッジ（訓練端末を使用した体験型サイバーセキュリティ講和も含む）、県警ホームページやX等での情報発信を継続しています。これらの警察の活動は、今後、県知事部局、教育委員会と連携し、県全体の取り組みとして推進していきます。皆様のご意見、ご要望、ご協力をお願い申し上げます。

